2020年6月23日

TOHOシネマズ株式会社

2020年5月映画興行部門興行成績速報

5月の東宝グループ会社の興行成績は次のとおりです（消費税等を含みます）。

東宝グループ館総合計

695スクリーン　　興行収入　　59,131,870 円　　（前年比 0.9％）

※5月は休館劇場数・日数が多く、成績の集計に時間を要したため、報告が従来より遅くなったことをお詫び申し上げます。5月14日まで全館の営業を休止しておりました。5月15日～21日は11館の営業、22日～24日は計36館、25日～28日は計37館の営業、29日～31日は全国で計48館の営業です。

5月主要稼動作品

『PSYCHO-PASS サイコパス 3 FIRST INSPECTOR』『弥生、三月 －君を愛した 30 年－』『スマホを落としただけなのに 囚われの殺人鬼』『貴族降臨 PRINCE OF LEGEND』『一度死んでみた』『ミッドサマー』『パラサイト 半地下の家族』『三島由紀夫 vs 東大全共闘 50 年目の真実』 以下旧作特別上映 『天気の子』『AKIRA アキラ』『君の名は。』『シン・ゴジラ』『君の膵臓をたべたい』『劇場版 おっさんずラブ -LOVE or DEAD-』『ロング・ウェイ・ノース』『カツベン！』『シティーハンター THE MOVEI 史上最香のミッション』『ブレードランナー ファイナル・カット』他

1月から5月までの東宝グループ会社の累計興行成績は次のとおりです（消費税等を含みます）。

東宝グループ館総合計

興行収入　　13,425,192,037 円　　（前年比 44.0％）

※ここでの東宝グループとは、TOHOシネマズ㈱、関西共栄興行㈱、㈱東京楽天地、オーエス㈱
以上4社が経営する映画館をいいます。
★TOHOシネマズ㈱、関西共栄興行㈱は、東宝㈱連結子会社
㈱東京楽天地、オーエス㈱は、東宝㈱持分法適用関連会社

※共同経営館（44スクリーン）のTOHOシネマズ分を含みます。

※「興行収入」とは映画館の入場料収入を指します。売店収入などは含まれておりません。

以 上